

川崎市におけるヤガ科 2 種の記録

横田光邦*・三田村瞬*

Records of two species of Noctuidae in Kawasaki City.

Mitsukuni Yokota* and Shun Mitamura*

はじめに

温暖化の影響や人為的な要因で、川崎市においても初めて確認される蛾が増えてきている。今年初めて記録されたヤガ科 Noctuidae 2 種について報告する。

採集記録

(1) スジコヤガ亜科 Eustrotiinae

アカサビヤガ *Amyna* sp.

[宮前区] 1ex., 宮前区水沢, 19-X-2023, 三田村瞬採集; 1ex., 宮前区初山, 10-XII-2023, 三田村瞬採集

宮前区水沢では、コナラ *Quercus serrata* Murray とサクラ *Prunus* sp. が植樹されている場所で、サクラの葉の裏に止まっている本種を発見した(図 1, 2)。時間は 20:00 頃で、天候は晴れであった。宮前区初山では、前回の確認から約 2 ヶ月後の 12 月 10 日に、サザンカ *Camellia sasanqua* Thunb. の花で吸蜜する個体を確認した(図 3)。

インターネット情報によると、本種は既に 2007 年に高知県で記録されている(nabe, 2022)。静岡県富士市で 2016 年頃から確認され、その後、2019 年頃から岐阜県各務原市で多数記録されている(田辺・宮野, 2022)。関東地方では、千葉県木更津市で 2021 年に(斎藤, 2022)、神奈川県海老名市で 2023 年に(シュガー, 2023) 記録が見られる。



図 1. アカサビヤガ(宮前区水沢)



図 2. アカサビヤガ (宮前区水沢)



図 3 アカサビヤガ (宮前区初山)

(2) シタバガ亜科 Catocalinae

オオトウスグロクチバ *Avitta fasciosa fasciosa* Moore, 1882

[多摩区] 2exs., 多摩区生田緑地, 23-XI-2023, 横田光邦, 三田村瞬採集

晩秋のヤガ科を観察するためにカシ類の葉などに糖蜜を散布したところ、本種が 2 個体飛来した(図 4)。飛来時間は 19:30 ~ 20:00 頃で、当日の気温はこの時期としては高めの 10°C を超えていた。天候は晴れ、風は微風、月齢は 9.7 と、糖蜜採集としてはまづまずのコンディションであり、秋から晩秋にかけて出現するヤガ科が多く飛来する中、本種も飛来し吸蜜していた。鮮度はいずれも新鮮な個体であり、近くで発生したものと考えられる。

*特定非営利活動法人 かわさき自然調査団

Kawasaki Organization for Nature Research and Conservation

川崎市では記録がないが、隣接する横浜市では記録がある（久保, 2000）。神奈川県内では平地から山地まで散発的な記録がある（中島・阪本, 2018）が、定着はしていないようである。

日本各地での記録が 2000 年代から増え、北は秋田県、富士山などの高標高地まで記録がある（岸田, 2011）。筆者の横田は山梨県甲州市（標高 1400m 付近）で 2003 年よりライトトラップを行っており、2015 年から本種の飛来が確認され、最近では 10 月には普通に見られるようになった。山地で良く見られることは興味深い。



図 4. オオトウスグロクチバ

おわりに

アカサビヤガは 2022 年に日本未記録種として報告された（田辺・宮野, 2022）。発見状況から見て、南方系の種類が北上してきたとは考えにくく、外来種である可能性も考えられる。寄主植物や年周経過はまだわかつていないが、岐阜県では 5-6 月と 9-10 月に得られていることから（田辺・宮野,

2022）、定着しているようである。川崎市における生息状況について、今後も継続して注視していく。

オウトウスグロクチバは、関東ではウラナミシジミ *Lampides boeticus* (Linnaeus, 1767) のように秋になると見られることから、世代交代しながら北上ってきて、冬の寒さで死に絶えることを繰り返していると推測される。温暖化が進むと、越冬できる緯度が上がってくることから、早い時期から見られるようになると考えられる。

引用文献

- 岸田泰則 (編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑 II. p. 262. 学研教育出版, 東京.
久保浩一, 2000. 円海山域の昆虫 (蛾類). 神奈川虫報 (130): 410-458. 神奈川昆虫談話会.
中島秀雄・阪本優介, 2018. 神奈川県昆虫誌 2018 III, p. 808-809. 神奈川昆虫談話会, 小田原.
斎藤 修, 2022. 小櫃川河口域の蛾 3. 大蛾類の追加記録. 房総の昆虫 (71): 37-39. 千葉県昆虫談話会会誌, 我孫子.
田辺恒彰・宮野昭彦, 2022. *Amyna* 属の日本未記録種について. 蛾類通信, pp.69-72. 日本蛾類学会

インターネット情報

- nabe, online. “四国産蛾類図鑑”. 2022. <http://homapage64.private.coocan.jp/z42koya2.html>, (accessed on 2023-December-23).
シュガー, online, “シュガーのキノコと虫の観察日記”. 2023. <https://ameblo.jp/jjmsugar/>, (accessed on 2023-December-23)